

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第4区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

PROFILE

深澤 陽一 ふかざわよういち

静岡市清水区興津生まれ（49歳）

清水市立興津小学校・中学校 卒業

静岡県立清水東高等学校 卒業

信州大学工学部 卒業

大学卒業後、衆議院議員の秘書を経て

2005年より静岡市議会議員（2期）

2011年より静岡県議会議員（3期）

2020年より衆議院議員（3期目）

2021年 厚生労働大臣政務官

2022年 自民党財務金融部会 副部会長

2023年 外務大臣政務官

2025年 自民党文部科学部会 部会長

妻と息子、娘の4人家族

身長 185cm 体重 81kg 血液型 B型

好きな食べ物はサラダ・野菜・アジフライ・甘いもの

子供の頃からスポーツが好きで、

ソフトボール、卓球、バレー、硬式野球、ボブスレー、

スケルトン、サッカーとさまざまなスポーツを経験。

静岡市議会議員、静岡県議会議員を経験し、

2020年 4月、望月義夫衆議院議員の遺志を継承し、

衆議院議員補欠選挙にて初当選。現在まで 3期。

2023年から外務大臣政務官、

2025年からは自民党文部科学部会長として活動。

「まずは聞くことから」をモットーに、日本の未来、

ふるさとのまちづくりに取り組んでいます。

責任ある積極財政で強く豊かな日本を

3年以上にわたって責任ある積極財政議連で政策実現に取り組んできました。コストプッシュ型インフレからデマンドプル型に移行するまでは国による財政出動が必要。経済成長こそ課題解決の道です。

物価高対策に奔走

ガソリン・軽油減税、電気・ガス料金への支援、地方交付金の増額、公的病院等への支援、米不足に対する備蓄米の活用等に取り組ましましたが、現場での不足感に対し引き続き取り組みます。

国土強靱化をさらに加速

これまで8年にわたって国土強靱化に取り組みましたが、能登半島地震等まだまだ対策が必要。今後5年で20兆円超の事業費で必要な対策を実施。地元では水門、防潮堤、治山治水等に取り組めます。

教育・子育て支援の転換点

いわゆる高校無償化で予想される公立高校の定員減。少子化も踏まえた高校再編が避けられません。社会はDX、AI等理系の基礎知識が必然であり、文系理系を区別しない文理融合教育を目指します。

外交・安全保障の重要性が高まる

外務大臣政務官として活動し、グローバルサウスと呼ばれる国々の存在が大きくなっていることを実感。世界が複雑化する中で、一国でも多くの理解を得て、多国化主義で日本の安全を守り抜きます。

清水港に新たな魅力

新興津地区を延伸した大型バルブ船への対応、人工海浜・小型船だまりの整備、江尻港周辺の再開発、日の出地区の観光化に加え、三保半島を国際海洋研究拠点として新たな魅力を生み出します。

富士川地区の市民力をモデルに

地域公共交通対策に独自の取り組みを実施。またマラソン大会のための施設整備や日常での活用の提案、スポーツツーリズムの誘致等、富士川地区の市民による事業化を後押しします。

富士山を世界のあこがれに

もっと多くの方々に富士宮からの富士山を愛でてもらいたい。その為に東海自然歩道、棚田等の整備・活用、食を通じたPR、インフラ整備による渋滞緩和対策、民間投資による活性化に取り組みます。

強い経済！強い外交！安全保障！

成長と豊かさを
実感に

成長は絶対成し遂げられる！
責任ある積極財政の考えのもと、
世界に頼られ憧れられる日本をもう一度取り戻す。
未来を担う皆さんが日本に大きな誇りを感じ、
社会を変える原動力となる成長をはぐくみ、
豊かさを実感できる日本に。



自民党公認
ふかざわ陽一
よういち

49才

ふかざわ陽一

@fukazawayoichi

fukazawa_yoichi

HP / fukazawayoichi.jp

深澤陽一

選挙区は

すずきさとる

比例は

れいわ

れいわ

新選組

すずきさとる

れいわ

選挙区

比例区

1 消費税はさっさと廃止で景気をアゲる！

2 今すぐつなぎの現金10万円

3 社会保険料は国のお金で引き下げる

4 生きててよかったと思える国～今すぐできる少子高齢化対策～

5 戦争ビジネスには加担しない

私も応援しています！

れいわ新選組代表
山本 太郎

くわしくはホームページをご覧ください

すずきさとる プロフィール

政策秘書・県議 8年・ふじのくに防災士

静岡市生まれ。明治学院大学国際学部卒。英国ランカスター大学・セント大学で修士号（平和学・国際紛争分析）。国会議員政策担当秘書資格試験に合格し政策担当秘書に。2011 年静岡県議会議員（～ 2019 年）。県議会危機管理くらし環境委員会委員長や会派の政策調査会長等を歴任。落選後、グループホームと有料老人ホームにて介護業務に従事。その後、再び政策担当秘書に。2024 年 11 月より、れいわ新選組の上村英明衆議院議員（比例東海）政策担当秘書。

すずきさとるホームページ

元静岡県議会議員

れいわ新選組公認
すずきさとる
笑顔のためにトントントン投資

未来へと つなぐタスキは この一票

投票日

2月8日(日)

投票時間・午前7時から午後8時まで
(一部地域を除く)

選挙のめいすいくん

投票日に仕事や旅行など予定がある方は「期日前投票」をしましょう。

▶ 期日前投票 2月7日(土)まで
※国民審査の期日前投票は、2月1日(日)からとなります。
投票時間は原則として午前8時30分から午後8時まで

◎投票の詳細につきましてはお住まいの市区町の選挙管理委員会にご確認ください。

静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会

(この公報は候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)

(うらをごらんください。)

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第4区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

ブレずに政策実現



1.給料・年金の上がる経済を実現

「手取りを増やす」を掲げ、ガソリンの暫定税率廃止、年収の壁を178万まで引き上げることを実現してきました。しかし未だ物価高に賃金が追いついていません。もっと手取りを増やすために、減税、社会保険料負担軽減、再エネ賦課金を廃止し、電気代を下げしていきます。

2.自分の国は自分で守る

エネルギー、食料、医薬品、半導体等を国内で調達できる体制整備話が必須です。清水港から「ちきゅう」がレアアースの採掘調査を始めました。中国に頼らないサプライチェーン構築を進めます。
「食料安保基礎支払」を創設し、消費者には手頃な値段で農産物を届け、農家の再生産可能な所得を補償し、食料自給率50%を実現します。

3.人づくりこそ、国づくり

教育国債を発行し、子育て・教育・科学技術予算を倍増します。奨学金返済で将来を縛ることがあってはなりません。学ぶ若者には奨学金債務減免、働く若者には所得税減税、奨学金残高控除の創設を行います。
また障害児福祉の所得制限撤廃に続き、あらゆる所得制限の壁をなくし、年少扶養控除復活を実現します。

田中けんが取り組む
政策5本柱

4.正直な政治をつらぬく

裏金や「非公開・非課税のお金」を許しません。「受け手規制」「献金上限規制」による徹底した透明性向上、政治資金監視委員会による不断の監視を進めます。議員定数削減を伴う抜本的な選挙制度改革、インターネット投票導入、被選挙権年齢18歳に引下げを実現します。

5.清水・富士宮・富士を元気にする

清水区の浸水被害軽減へ、地下トンネル活用を推進します。また新スタジアムを核に、清水駅前の再開発で観光・ビジネスの呼び込みに力を入れます。道の駅（蒲原・庵原）を防災・観光・地域振興の拠点として整備致します。富士宮・富士においては市街化調整区域を見直し、住み続けられる地域づくりを進めます。
また富士山麓の歴史・文化を生かした「質の高い観光」と担い手育成を推進します。富士川の維持流量を早期に実現し、河川環境を守ります。



静岡県立富士高等学校卒業
青山学院大学経済学部卒業
第一勧業銀行・みずほ銀行勤務
2003年 大田区議会議員選挙 初当選
2009年 東京都議会議員選挙 初当選
2013年 東京都議会議員選挙 2期目当選
2021年 衆議院議員選挙 初当選
2024年 衆議院議員選挙 2期目当選
【家族】妻、長男(8歳)、ワンコ(4歳)、ニャンコ(2歳)



田中けん

国民民主党公認

昭和52年生まれ(48歳)



“3つの柱と9の政策”

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする の柱 ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して拠えることのない体制を整えます。
- 5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む の柱 ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



高田あきひろ プロフィール
旧清水市(現在の清水区)生まれ。静岡県立清水東高校卒業。
長年の勤務の経験を活かし、電気工事店を営営する。
人の役に立つ人間になるため、残りの人生を国づくりに懸ける。



高田あきひろ

参政党公認

たかだ

未来へと
つなぐタスキは
この一票



選挙のめいすいくん